

平成 28 年度

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価結果報告書

平成 29 年 12 月

川 越 市

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け

国では、進展する人口減少問題に国を挙げて本格的に取り組んでいくため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月には、全国の現状と将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び今後5か年の国の施策の方向性を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

本市は、東京圏にありながらも、他の地方都市と同様、少子高齢化が進行する中で人口減少期を迎えることが予測されていることから、国の地方創生の動きを好機として活かし、人口減少問題及び経済規模の縮小等への対策に積極的に取り組むため、平成28年1月、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」）を策定しました。

総合戦略のPDCAサイクル

総合戦略に位置付けた事業の実施にあたっては、効果的に推進するため、重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCAサイクルに基づき、適切に管理していくこととしています。

また、各施策の進捗状況や具体的な取組内容等に対する評価については、議会における意見や、川越市まち・ひと・しごと創生本部における学識経験者等の意見を聴きながら、毎年度必要な見直し等を行うこととしています。

このため、平成29年7月、川越市まち・ひと・しごと創生本部において、総合戦略（Plan）に基づく平成28年度の実施事業について、進捗状況や具体的な取組内容（Do）について報告するとともに、産業界・大学・金融機関の外部有識者より意見を聴きながら、評価（Check）を行いました。

平成28年度事業の総括

総合戦略は、平成27年度を初年度とする5年間を計画期間としています。計画期間のうちの2年目を終え、各事業については概ね順調に進捗していますが、一方で遅れが生じている事業もいくつか見られる状況となっています。

そのため、順調に進捗している事業については引き続き推進を図るとともに、遅れが生じている事業については、その原因を分析するなど、課題を踏まえた上で今後の方針を定め、事業の推進にあたることとします。

また、外部有識者からは、個別事業及び事業全般に係るご意見を頂いたことから、今後はこれらのご意見も参考としながら事業を進めていくこととします。

今回の評価を踏まえた今後の取組としては、上記の内容を踏まえつつ、概ね現状の計画に基づき進めることとします。

平成29年度 川越市まち・ひと・しごと創生本部会議

開催日	出席者
-----	-----

第1回	平成29年7月4日	本部構成員:出席者 10名、欠席者 1名
-----	-----------	----------------------

第2回	平成29年7月27日	本部構成員:出席者 11名
-----	------------	---------------

	外部有識者:出席者 8名
--	--------------

東京国際大学商学部 教授	伊 藤 匡 美
いるま野農業協同組合 川越地域理事代表	小 倉 元 司
武蔵野銀行 川越支店支店長	桑 原 秀 恵
埼玉りそな銀行 川越支店支店長	斉 藤 重 教
川越商工会議所 専務理事	竹 澤 穰 治
尚美学園大学総合政策学部 教授	眞 下 英 二
埼玉縣信用金庫 川越支店支店長	松 岡 伸 幸
東洋大学理工学部 教授	吉 田 善 一

(五十音順、敬称略)

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

戦 略

プロジェクト

戦略1

～川越でしごとをする～
地域の特性を活かし、
若者を引きつける働く場をつくる

プロジェクト1

しごと暮らし 川越
川越産業の活性化と若者の地元就業

プロジェクト2

ものづくり長屋 川越
文化創造拠点の形成と創業支援

プロジェクト3

健康食レストラン 川越
川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

戦略2

～川越で育てる～
安心して出産・子育てができる
環境をつくる

プロジェクト4

縁結び 川越
若い世代を呼び込む「縁結びのまち」の魅力の創出

プロジェクト5

すくすく かわごえ
子育て世代を支える安心の拠点づくり

戦略3

～川越を活かす～
地域の価値を高め、
魅了あるまちをつくる

プロジェクト6

蔵人ファンド 川越
「蔵の町 川越」を活かし、支援するファンドの創設

戦略4

～川越を遊ぶ・感じる～
より広域に、より魅力の高い
交流の機会をつくる

プロジェクト7

キテミル KAWAGOE
川越を訪れるきっかけづくり

プロジェクト8

蔵 in ガルテン 川越
グリーンツーリズム拠点の整備

政策目標

平成31年時点で	実績値	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年
総人口350,000人以上を維持		349,378	350,223	351,654		
年少人口43,000人台、		45,537	45,324	45,172		
生産年齢人口213,000人台を維持		219,062	217,272	216,566		

(単位:人)

主な施策

市内企業への販路拡大支援〔地方創生交付金事業〕

地域のしごと総合ポータルサイトの構築

- ・サイトは、「製品技術編」と「しごと編」で構成
- ・製品技術編は、川越ものづくりブランドである「KOEDO E-PRO」の認定を受けた企業を中心に27社の企業を紹介。あわせて冊子版「川越“きらり”ものづくり企業ガイド」を発行
- ・しごと編は、42社の企業を紹介。更に市内大学と協力し、8社の企業に対しては、大学生の目線から取材を実施

新たなウリ方セミナー他販路開拓支援事業

- ・彩の国ビジネスアリーナ（産業見本市）出展を活用し販路開拓セミナーを実施

川越ものづくりブランド認定企業への販路開拓支援

- ・川越ものづくりブランド KOEDO E-PRO 認定企業4社に、認定製品・技術 PR 補助金を交付



地域のしごと総合ポータルサイト
「川越きらり企業NAVI」のトップページ



「川越きらり企業NAVI」
2次元バーコード

関係する施策

若者に対する川越就業のための情報提供支援

- ・「市内企業への販路拡大支援」における地域のしごと総合ポータルサイトの「しごと編」とリンク

多様な働き方の支援

既存産業に対する環境整備

主な施策

旧川越織物市場の整備

実施設計

- ・市指定文化財である旧川越織物市場の実実施設計を行った。

運営管理検討業務

- ・入居者や地域住民のニーズ等を踏まえ、導入機能や保存・活用・管理に関する条件を整理し、オープンに向けた施設の管理運営方針や体制等の検討を行った。



旧川越織物市場の現在の様子



事業コンセプトのイメージ図

主な施策

健康食レストラン川越の設置〔地方創生交付金事業〕

健康食レストラン川越の設置

- ・レストラン設置に係る基礎調査等の業務委託を実施し、事業候補地の選定等が課題として挙げられたため、検討を進めた。

メニュー・レシピの開発

- ・レストラン設置と併せて進めているメニュー・レシピの開発は、女子栄養大学により、105品のレシピができた。

< レシピの一例 >



豚味噌焼きとさつま芋の甘煮



野菜椀

関係する施策

- 川越産農産物のブランド化事業
- 川越伝統野菜の再興

主な施策

縁結びの支援〔地方創生交付金事業〕

縁結びマップの作成

- ・若い世代を呼び込むためのマップを作成
- ・作成にあたっては、市内大学生の協力を得て若者の視点を活かした
- ・市内91か所を調査し、そのうち35か所をマップに掲載した

ノベルティグッズ作成

- ・川越を縁結びのまちとしてPRするためマグネットを作成
- ・デザインは学生が担当
- ・素材には川越唐棧を使用
- ・今後行われるまち歩きイベント等で配布し、縁結びのまちをPRする



縁結びマップ表紙



縁結びマップ内容

関係する施策

出会いの仕掛けづくり

主な施策

子育て安心施設の整備

基本計画の策定

- ・ 建設地の決定
- ・ 子育て支援や各種相談機能を併せ持つ複合的な施設を駅周辺に整備するための基本計画を取りまとめた
- ・ 開設予定は平成33年度

< 基本計画の主な内容 >

建設地

本川越駅付近（中原町2丁目地内）

導入機能

保育機能（送迎保育ステーション及び一時預かり）

子育て支援施設

乳幼児相談、産前・産後相談の場

健康教育・健康相談の場

地域包括支援センター

規模

5階建て程度（延床面積約1,500㎡～1,800㎡）

建設予定地



主な施策

くらびとファンディングの設立〔地方創生交付金事業〕

くらびとファンディングポータルサイトの設立

- ・市内で実施されるクラウドファンディング企画の情報を集約・発信するサイトの設立

クラウドファンディング手数料補助制度の設立

- ・クラウドファンディング企画の立案者がクラウドファンディング事業者に支払う手数料の一部を補助する制度を設立



クラウドファンディングとは

個人や企業などがインターネットを介して寄付、購入、投資などの形態で、個人から少額の資金を調達する仕組み。

新たな資金調達の手段としてのみならず、地域活性化での活用も期待されている。

くらびとファンディングポータルサイト トップページ



成立した事業（平成29年度）の一例



くらびとファンディングポータルサイト
2次元バーコード

関係する施策

蔵まちづくり再生基金の設立

歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築

主な施策

「おもてなし川越」の創設〔地方創生交付金事業〕

川越版DMO¹の設立検討

- ・川越市における観光の現状や課題の分析
- ・観光関連組織へのヒアリング
- ・川越版DMOの組織概要の検討

日本版DMOセミナーの実施

- ・DMOに対する理解促進、意識醸成を目的としたセミナーを開催
- ・参加者数は約70名

- 1 DMO...Destination Management/Marketing Organizationの略。地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくりや情報発信等を行う観光地域づくりの推進主体。

コンベンションの誘致〔地方創生交付金事業〕

コンベンション誘致に係る基礎調査

- ・コンベンションの現状、誘致推進の方向性及び可能性調査
- ・ウェスタ川越を中心としたコンベンション誘致推進の検討

フィルムコミッション事業〔地方創生交付金事業〕

「キテミル川越ショートフィルム大賞」の実施

- ・市内で撮影された映像作品のコンテストを実施
- ・応募作品数は17作品

ロケーションライブラリの構築

- ・市内ロケーション候補地の映像等を備えたロケーションライブラリを構築
- ・掲載数は50か所



キテミル川越ショートフィルム大賞受賞作品
「宝池に寄り道を」の一コマ

関係する施策

- 「日本遺産」による魅力発信事業

主な施策

グリーンツーリズム拠点の整備

事業計画の策定

- ・ アンケート調査により都市住民等のニーズ把握を行った
- ・ コンセプト及び機能を整理するとともに事業計画を策定

グリーンツーリズムとは

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動のこと

関係する施策

伊佐沼公園など周辺施設との連携



農業ふれあいセンター外観

戦略1 ～川越でしごとをする～ 地域の特性を活かし、若者を引きつける働く場をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市内事業所従業者数(人/年)	目標値	-	127,523	-	127,523	127,523
	実績値	127,523	-	136,202		
市内総生産額(百万円/年)	目標値	1,087,269	1,107,240	1,127,211	1,147,182	1,167,154
	実績値	1,067,298	1,133,468	1,092,161		

上記数値は、各年度の前々年度に調査した値で、国・県が公表している最新の値を掲載

プロジェクト1 しごと暮らし川越 川越産業の活性化と若者の地元就業

具体的施策							
施策名		進捗状況				今後の方向性	
1.若者に対する川越就業のための情報提供支援		ほぼ目標通り				改善し継続	
2.多様な働き方の支援		目標を下回った				改善し継続	
3.市内企業への販路拡大支援		ほぼ目標通り				改善し継続	
4.既存産業に対する環境整備		ほぼ目標通り				継続	
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市が主催する市内高校・大学への就職応援講座の実施数(件/年)	目標値		4	7	12	16	20
	実績値	4	4	7			
創業支援の利用者数(人/年)	目標値		50	75	100	125	150
	実績値	25	87	99			

主な意見

- ・「若者に対する川越就業のための情報提供支援」の大学生向けセミナーについては、早めに大学にご相談いただければ対応できる余地はあると思う。
- ・地元就業を促進するならば、川越に対する愛着を醸成していくといった取組も必要だと思う。

プロジェクト2 ものづくり長屋川越 文化創造拠点の形成と創業支援

具体的施策							
施策名		進捗状況				今後の方向性	
1.旧川越織物市場の整備		ほぼ目標通り				継続	
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
文化創造インキュベーション施設 入居率(%)	目標値		-	-	-	-	100
	実績値	-	-	-			
立門前線の歩行者・自転車 通行量(人)	目標値		3,915	3,915	3,915	3,915	4,500
	実績値	3,915	3,200	3,696			

主な意見

- ・文化創造インキュベーション施設については、効果的に運用できるよう、関係課との調整を図ってほしい。

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.健康食レストラン川越の設置		目標を下回った			改善し継続		
2.川越産農産物のブランド化事業		目標を上回った			継続		
3.川越伝統野菜の再興		ほぼ目標通り			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
農産物直売所の総販売額 (百万円/年)	目標値		628	645	662	679	700
	実績値	611	667	688			
川越産農産物を使ったレシピの 累計開発数(件)	目標値		5	20	40	50	50
	実績値	0	5	110			

主な意見

・地元産の野菜にはさつまいも以外にもいい野菜がたくさんあるので、それらを使ったメニューをレストランで提供するなど、売り出してほしい。

戦略2 ～川越で育てる～ 安心して出産・子育てができる環境をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子育て世帯の転入数(世帯/年)	目標値	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
	実績値	1,015	1,069	1,120		

プロジェクト4 縁結び川越 若い世代を呼び込む「縁結びのまち」の魅力の創出

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1. 縁結びの支援		ほぼ目標通り			継続		
2. 出会いの仕掛けづくり		ほぼ目標通り			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
デートマップに掲載されたスポットの累計数(件)	目標値		17	27	37	47	60
	実績値	17	17	52			
縁結び関連の事業・イベントの実施数(件/年)	目標値		3	7	11	15	20
	実績値	2	3	7			

プロジェクト5 すくすくかわごえ 子育て世代を支える安心の拠点づくり

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1. 子育て安心施設の整備		目標を下回った			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
保育園待機児童数(人/年)	目標値		60	46	32	18	0
	実績値	74	67	64			
地域子育て支援拠点事業の利用者数(人/年)	目標値		93,251	96,718	100,265	104,002	108,105
	実績値	69,361	94,507	98,200			

戦略3 ～川越を活かす～ 地域の価値を高め、魅力あるまちをつくる

数値目標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
定住意向率(%)	目標値		-	-	-	-	90.0
	実績値	88.7	-	-			
空き家率(%)	目標値		-	-	-	-	11.0
	実績値	11.0	-	-			

上記数値に係る次回調査は、平成30年度実施予定

プロジェクト6 蔵人ファンド川越 「蔵の町川越」を活かし、支援するファンドの創設

具体的施策							
施策名		進捗状況				今後の方向性	
1.蔵まちづくり再生基金の設立		目標を下回った				継続	
2.くらびとファンディングの設立		ほぼ目標通り				継続	
3.歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築		ほぼ目標通り				継続	
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
蔵まちづくり再生基金の活用累計数(件)	目標値		-	-	-	-	1
	実績値	-	-	-			
くらびとファンディング活用累計数(件)	目標値		-	1	4	7	10
	実績値	-	-	0			

戦略4 ～川越を遊ぶ・感じる～ より広域に、より魅力の高い交流の機会をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
観光客数(人/年)	目標値	6,664,500	6,750,000	6,860,000	6,970,000	7,080,000	
	実績値	6,579,000	6,645,000	7,040,000			
外国人観光客数の割合(%)	目標値		1.3	1.5	1.7	1.9	2.2
	実績値	1.1	1.7	2.4			

プロジェクト7 キテミル KAWAGOE 川越を訪れるきっかけづくり

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.「おもてなし川越」の創設		ほぼ目標通り			継続		
2.コンベンションの誘致		ほぼ目標通り			継続		
3.フィルムコミッション事業		ほぼ目標通り			継続		
4.「日本遺産」による魅力発信事業		目標を下回った			改善し継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ロケ地として撮影された件数(件/年)	目標値		66	75	84	93	105
	実績値	57	33	12			
観光客の平均消費額(円)	目標値		4,233	4,300	4,600	4,800	5,000
	実績値	4,166	4,073	4,045			

プロジェクト8 蔵 in ガルテン 川越 グリーンツーリズム拠点の整備

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.グリーンツーリズム拠点の整備		ほぼ目標通り			継続		
2.伊佐沼公園など周辺施設との連携		ほぼ目標通り			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
農業体験事業参加者数(人/年)	目標値		1,108	1,205	1,302	1,399	1,500
	実績値	1,011	965	1,403			

主な意見

・宿泊施設については、民泊関連法案等の動向も踏まえ、効果的に運用できるように進めてほしい。

その他 主な意見

・KPIについては、施策は伴っていないが数値が達成されているものも見られるため、客観的に捉える必要がある。

・事業の内容が、中心市街地に特化している印象を受ける。市内には様々な資源があるので、これらも活用した取組が必要だと考える。

・蔵造りの町並みは確かに重要なアイコンだが、特化しすぎて、そこに関係のない市民に「自分たちには関係のない話」と思われぬようにする必要がある。